

○家はねえ、津波で流されてはないけど、1階はつかったよね。だから、2階に無事な物はすべて移してあるんだけど、車が故障したから、持ってこられないんだよね。今、車は修理に出してる。車ないと、運転もできなから何もできないね。スーパーにも役場にも何をするにも必要だから。また来ますね。(8月16日 山元・仮設 20代 女性)

○ちょうど早産の危険性があったから、入院してて帰ったばかりに地震があったからすごくよかった。一人だったから。お腹大きいから韓国ドラマ見てたら、すごい揺れ始めるし、携帯鳴るし。車押さえながら携帯で旦那に電話してすぐ帰ってきてって言って。やっぱり放射能が怖い。自分はいいんだけど、赤ちゃんはね。実家は海に近くて流されちゃったから、赤ちゃん用品全部なくなっちゃったから、買い直さないといけなかった。みんな(スーパーで)私が私がだった。ミルクも3つまでで。産まれたときも電気が通ったばかりだったから本当に良かった。医者はやっぱたのもしかったしすごいなって。(8月22日 山元・仮設 20代 女性)

○アパレル系ショップのTシャツが送られてくるが、かわいくていい。大人用・小人用いろいろあって、みんな着ている。仮設は隣がすごく近いから、子ども同士がよく遊んでいる。(8月23日 岩沼 仮設 30代 女性)

○なぜボランティアに来るのかわからない。会社休んできたんでしょ？この辺りは福島隣の隣だから、放射能が一時高かったけど大丈夫かい？  
(8月15日 山元 仮設 30代 男性)

○夫は植木職。今は浜の家々がなくなってしまったので、仕事が少し減った。震災後、東京や京都の造園の青年部が重機を送ってくれたので助かった。家を失ってしまったが、一家全員無事だったのが幸いだった。津波が来た時、逃げ遅れて栗の木に子どもを押し上げ、自分もその気に登って助かった。地震があっても油断していた。(8月16日 山元・仮設 30代 女性)

○俺は帰らないよ。帰っても誰もいないから。じいちゃんはいり物行って帰ってこないから、だから足湯やる。(8月16日 山元・仮設 小学生男子)

○あのおじいちゃん知ってる？クリーニング屋さんだったんだよ。津波でお店流されちゃったんだって。〇〇ん家の近くだったから知ってるんだ。〇〇ん家も流されたの。(8月16日 山元・仮設 幼児 女子)

○おれら津波に流されちゃったんだよ。めっちゃ怖かった。(8月17日 山元・

仮設 小学生 男子)

○好きな子はもういないよ。だって流されちゃったんだもん。だから、まだ好きな子はできない。(8月17日 山元・仮設 小学生 男子)

○4年前に夫を亡くして、やっと立ち直ったところだった。夫と一緒に築いたものが全て流されてしまった。夫の位牌だけは持って逃げたけれど、写真は見つからない。家族は、皆無事だったから良かった。何か持っていたても、いつなくなるか分からないから、命さえあれば何もいらないんだ。

(8月8日 山元・仮設 60代 女性)

○高血圧と高脂血漿で関節の節々が痛い。朝散歩とか努力しているけど…。仕事が無いのがつらいね。

(9月5日 陸前高田・仮設 60代 女性)

○夜眠れないんだよ。やっぱり津波がね。あとね、足がつってんだよ。夜寝てるとビーンってね。痛くてね。安定剤のんでるけど、今は四分の一になったけど。病院の先生は「何でもない」っていつてる。

(9月5日 陸前高田・仮設 70代 女性)

○津波以来、ずっと体調悪いの。

(9月7日 陸前高田・仮設 70代 女性)